



あわし



12



大崎直也さん(八木)と妻の由美子さんは、平成18年に埼玉県から移住し農業を営んでいます。もともと埼玉県でサラリーマンだった大崎さんは、仕事のストレスで病気を患い退職し、就農を目指して全国を巡りました。南あわじを選んだ理由は、二毛作や三毛作を行える環境があるからという大崎さん。レタスの栽培方法をJAの営農指導員や農業改良普及センターの人たちから教えてもらったり、図書館で本を調べたりして学びました。育苗の際、苗に刺激を与えホルモンの活性化を図るために音楽を聞かせたり、肥料を工夫したりして収穫を安定させています。大崎さんは「このレタスは色艶がよく甘みがある。人に食べて喜んでほしいから、今後も研究して作り続けていきたい」と話していました。(11月15日撮影)

市政ひろば	2~7
財政状況、年末年始の業務案内	8~9
お知らせ	10~13
情報瓦版	14~15
まなびの扉	16~17
いきいき健康生活	18~19
心のかけはし	20~21
まちかどトピックス	22~23
公民館イベント、郡史の拾い読み	24

レタスの収穫、最盛期を迎える